

北海道町村議会議員研修 先進地視察

7月1日から3日まで議員研修、先進地視察に行きました。初日は、小樽市朝里にある屋内でわさびを栽培している「北海テクノロジー農業株式会社」を視察しました。ニュージールランド出身の代表アンガス・ラム・キンハン氏は独自の屋内システムで『気候に左右されない農業』を実現しました。太陽光を使わずLED照明で光環境を制御し、水は完全循環方式を採用して従来比の95%を削減しています。また、人口培養土を使用し最適なバランスで成分を供給し安定した品質と成長を実現しています。

ここで栽培されている3種類のわさびを試食しましたが、それぞれ特徴があり非常に美味しいものでした。コストや成長速度の課題はありますが、国内にとどまらず、海外進出の可能性を秘めており、今後の動向に期待が持たれます。



2日目は、午前中に北海道議会の議場等を視察しました。

担当者に各施設を案内していただきましたが、やはり議場が一番でした。初めての議員が多く議場の大きさや子供連れ専用の傍聴室（防音）に興味を示していました。



午後から、札幌コンベンションセンターでの議員研修会に参加しました。

講演は、関西学院大学の牧瀬実教授の「地方議員への12の政策アイテムから人口維持を目指す実践事例」で『移住者を奪う』という奇抜なアイデア等非常に興味深い講演でした。

ジャーナリストの須田慎一郎氏は「どうなる政治・経済」「日本再生のために何が必要か」というテーマで、テレビでもおなじみということもあり、巧みな話術で参加者を引き込んでいました。



3日目は、札幌市駒岡清掃工場を視察しました。令和7年7月完成の最新の清掃工場です。焼却施設棟、

破碎施設棟、管理棟からなり、燃焼時の熱源を有効活用した発電や地域供給、鉄やアルミの回収等循環型社会、脱炭素社会の実現に向けた取り組みをしています。



次回定例会

9月14日（月）～9月17日（木）

議会を傍聴しませんか。

皆様のお越しをお待ちしております。



爽やかな風が心地良く、牧草地には丸く積み上げられた牧草ロールが夏の風景を彩る季節となりました。

短い北海道の夏は、自然の豊かさや地域の活気をあらためて感じさせてくれます。「議会広報さまに」は、議会と町民を繋ぐ大切な架け橋です。町民の皆様に分かりやすく、正確な情報をお届け出来るよう、編集委員一同工夫を重ねより良い広報を目指して参りたいと考えています。ご意見やご感想をお寄せ頂ければ幸いです。暑さが厳しくなる時期です。体調管理に気をつけながら、短くも美しい夏を、どうぞお健やかにお過ごしください。

（明賀）

議会広報常任委員会

委員長	水野 洋一
副委員長	佐々木 敏
委員	鈴木 隆
委員	明賀 孝子
委員	砂子澤 富美子